

改正

平成10年3月30日条例第9号

平成12年6月12日条例第25号

平成14年3月29日条例第9号

平成14年9月26日条例第20号

平成14年12月27日条例第25号

平成17年9月27日条例第27号

平成26年3月31日条例第3号

平成31年3月26日条例第1号

令和元年6月28日条例第13号

海とくらしの史料館条例

(目的)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第1項の規定に基づき、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、史料館を設置し、その管理及び運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(名称、位置及び業務)

第2条 史料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 海とくらしの史料館

位置 境港市花町8番地1

2 史料館の業務は、次のとおりとする。

- (1) 水産、港湾等に関わる資料の収集、保管、展示及び研究に関すること。
- (2) 民俗資料の収集、保管、展示及び研究に関すること。
- (3) その他必要な業務

(指定管理者による管理)

第3条 市長は、法第244条の2第3項の規定に基づき、法人その他の団体であって市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に、史料館に係る次に掲げる業務を行わせるものとする。

- (1) 史料館の入館料（以下「入館料」という。）の徴収に関する業務
- (2) 史料館の施設設備の維持管理に関する業務

- (3) 水産、港湾等に関わる資料の保管及び展示に関する業務
- (4) 民俗資料の保管及び展示に関する業務
- (5) 文化事業の実施に関する業務
- (6) 前各号に掲げるもののほか、史料館の運営に関する業務（市長のみの権限に属する事務を除く。）

（指定管理者の管理の期間）

第4条 前条の指定の期間は、5年とする。ただし、再指定による期間の更新を妨げない。

2 前項の指定の期間は、市長が特別に必要があると認めるときは、変更することができる。

（休館日、開館時間及び入館受付時間）

第5条 史料館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 火曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日と重なる場合は、その翌日とする。)

- (2) 年末年始(12月29日から翌年1月3日までの日)

2 史料館の開館時間は、次のとおりとする。

午前10時から午後5時まで

3 入館受付時間は、次のとおりとする。

午前10時から午後4時30分まで

4 前3項の休館日、開館時間及び入館受付時間は、指定管理者が特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、変更することができる。

（入館料）

第6条 入館料は、別表に定めるとおりとする。

（入館料の納付）

第7条 史料館に入館しようとする者（以下「入館者」という。）は、入館料を納付しなければならない。

2 入館料は、史料館に入館する際、納付しなければならない。

（入館料の減免）

第8条 市長は、次の各号に定めるとおり、入館料の減額又は免除をすることができる。

- (1) 小学校又は中学校が教育課程の一環として入館するとき（教師が引率した場合に限る。）は、免除
- (2) 70歳以上の者及び心身に障がいをもつ者が入館するときは、免除

(3) その他市長が特別の理由があると認めるときは、減額又は免除

(入館料の還付)

第9条 既に納付された入館料は、還付しない。ただし、市長は、次の各号の一に該当するときは、既に納付された入館料の一部又は全部を還付することができる。

(1) 入館者の責めに帰すことのできない理由により、展示品を観覧することができなくなったとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、市長が特別の理由があると認めるとき。

(利用料金)

第10条 市長は、法第244条の2第8項の規定により、指定管理者に史料館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

2 前項の規定により利用料金を指定管理者に収受させる場合において、入館者は、指定管理者が定める額の利用料金を指定管理者に支払わなければならない。この場合において、第7条第1項の規定は、適用しない。

3 利用料金の額は、第6条に定める入館料の額の範囲内で市長の承認を得て指定管理者が定める。

(利用料金の減免及び還付)

第11条 指定管理者は、利用料金の減免又は還付をすることができる。

2 利用料金の減免又は還付は、市長の承認を得て指定管理者が定める基準に従って行なうものとする。

(損害賠償)

第12条 史料館の資料及び施設、設備、器具等を損傷し、汚損し、又は滅失させた者は、直ちにその旨を指定管理者に届出し、教育委員会が相当と認める損害を賠償しなければならない。

(目的外使用の許可)

第13条 第1条に規定する目的以外の目的で史料館を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

(委任)

第14条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成10年3月30日条例第9号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成10年 7 月 1 日（以下「施行日」という。）から施行する。

附 則（平成12年 6 月12日条例第25号）

この条例は、公布の日から施行し、平成12年 5 月23日から適用する。

附 則（平成14年 3 月29日条例第 9 号）

この条例は、平成14年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成14年 9 月26日条例第20号）

この条例は、平成14年10月 1 日から施行する。

附 則（平成14年12月27日条例第25号）

この条例は、平成15年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成17年 9 月27日条例第27号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成18年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際、改正前の境港市民会館条例、海とくらしの史料館条例、境港市文化ホール条例、境港市公園条例、境港市民スポーツ広場条例、境港市民体育館条例、境港市民テニス場条例及び境港市民温水プール条例（以下「条例等」という。）によりなされた許可等の手続きは、改正後の条例等の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成26年 3 月31日条例第 3 号）

この条例は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成31年 3 月26日条例第 1 号抄）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成31年10月 1 日から施行する。

（不特定かつ多数の者が使用する施設の使用料に関する経過措置）

- 2 第 1 条から第 4 条まで、第 6 条、第 8 条、第10条及び第13条の規定による改正後の各施設の使用料の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後の期間に係る使用料の額について適用する。ただし、施行日前に使用料を納付した場合の使用料の額については、なお従前の例による。

附 則（令和元年 6 月28日条例第13号）

この条例は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

別表（第6条関係）

区分		入館料の額（1人）
通常展示の入館	小学生・中学生・高校生	100円
	一般	410円
特別展示の入館		市長が別に定める額